2021 年度末報告書（実行団体）

● 提　出　日　：　2022 年 3 月 31 日
● 事　業　名　：　萩之茶屋地域ひと・まち・いきいきリカバリー事業
● 資金分配団体　：　一般財団法人　大阪府地域支援人権金融公社
● 実 行 団 体　：　特定非営利活動法人　釜ヶ崎支援機構
● 新型コロナウイルス対応緊急支援助成（通常枠での追加助成）の有無　：　■有　□無

① 実績値

【資金支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況＊
①地域と医療をつなぐ居場所・相談窓口ができる	①大阪市営萩之茶屋第一・第二住宅の住民を主とした地域住民が参加し、健康促進への機運が高まるとともに、地域住民同士の交流が生まれる。	①市営萩之茶屋住宅と大阪社会医療センター、西成版サービスハブ構築運営事業並びに西成区高齢生活保護受給者の社会的つながりづくり事業の利用者との交流を進め、一体的に社会的孤立の解消とつながりづくりの活性化。	2023 年 3 月	2021 年 11 月 22 日より市営萩之茶屋住宅の集会所にて住宅住民を対象とした百歳体操を月 1 回ペースで実施。その際に大阪社会医療センターと連携し血管年齢測定等健康促進のプログラムを行っている。また西成版サービス	2

				ハブ構築運営事業並びに西成区高齢生活保護受給者の社会的つながりづくり事業の利用者には体操プログラムの運営や体操指導のボランティアとして参加することで、交流を深め一体的な社会的孤立の解消とつながりづくりを行っているところである。	
②結核健診を勧奨し就労意欲を助長する強力なツールを開発し実装する。	②利用者が整理券配布の時間に並ばなくてよくなる。結核健診の受診歴を管理することで受診勧奨ができる。年齢に応じた就労及び就労訓練の情報を受け取ることができる。生活・医療の相談支援を受けることができる。	②あいりんシェルターの利用者が、インセンティブにより、自然に定期的な結核健診を受ける方向へと進むとともに、就労に関する情報を受け取ることができるシステムの構築。	2023 年 3 月	システムの利用者があいりんシェルター利用者の 100%に達し、それに伴い結核健診の受診率も 100%になっている。また就労に関する情報提供については求人情報や就職セミナー情報を行いつつある状況。現在コロナ禍で求人の減少等困難な課題はあるが、脱コロナ禍を見据え情報提供を	1

				強化していきたいと考えている。	
③多様な生きづらさを抱えた人が集まれる居場所ができる。	③多様な生きづらさを抱えた人が、自分を否定されない安心できる場所を持つことができる。	③多様な当事者の集まりによるグループミーティングの活性化、自助組織・居場所の持続を目ざすチャリティ・システムの構築	2023 年 3 月	現在、居場所のリフォームの目途がたち、またホームページのコンテンツを整備している状況。2022 年度の活動を通して目標達成を目指す。	3

＊進捗状況：1 計画より進んでいる 、2 計画どおり進んでいる 、3 計画より遅れている、4 その他

② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
1.達成の見込み
2.アウトカムの状況
A：変更項目 ■変更なし □短期アウトカムの内容 □短期アウトカムの表現 □短期アウトカムの指標 □アウトカムの目標値
3. 活動に関する報告
アウトプット① 萩之茶屋第 2 住宅自治会住民総会にてプログラム推進の住民同意を得る。行政（西成区、西成社会福祉協議会）や地域の医療機関（大阪社会医療センター）と連携し、またボランティア（西成版サービスハブ構築運営事業並びに西成区高齢生活保護受給者の社会的つながりづくり事業の利用者）の協力を得ながら 11 月 22 日に「いきいき百歳体操」のプログラムを開催。事前にボランティア（2 名）の協力を得ながら住宅各戸を廻り参加の呼びかけを行った結果、萩之茶屋第 2 住宅住民 8 名が参加。当日は前述の西成区、西成社会福祉協議

会、大阪社会医療センターも協力機関として参加いただき、西成区からは健康推進等の観点からの継続的な体操の意義、西成社会福祉協議会では参加者のお悩み相談、住宅の隣に位置する大阪社会医療センターからは病院の紹介と、参加者へ血管年齢測定を実施。また、ボランティア 5 名にも協力いただき、体操の助言、設営・運営等をお手伝いただく等、計画目標達成を見据えた内容で実施。

12 月 22 日に 2 回目を開催。住民参加者 4 名。この日は住民同士の交流を深める機会になればと、外部講師を招き「コミュニケーション研修プログラム」を体操後に実施。

1 月以降については、オミクロン株由来の感染拡大とまん延防止措置令を受け、プログラムの実施は中断している状態。

今後については感染状況等を見据えてだが、住民から声があがっている、住民同士あるいは地域とのつながりづくりの機会として、公営住民だけではなくボランティア等住民以外も交え、公営住宅内の清掃活動の実施や、健康教室等のプログラムの実施を行う予定としている。

アウトプット②　行政（大阪市）と協議を重ね、結核健診勧奨以外に、新型コロナウイルスのワクチン接種勧奨や、施設内で陽性者が出た場合に備え、寝泊まりしていたベッド使用歴を把握できるようにしたことで、濃厚接触者の特定を可能にした。

就労支援については、弊機構就労支援事業部と連携し、システム登録時に聞き取りを行っている就労希望（希望職種・過去の職歴等）を基にピンポイントでの情報提示を可能にした。その結果として地域で行っている清掃講座等の就職支援セミナーでは、システム活用以前には応募者の定員割れが続いていた状態であったが、システムを活用し募集したところ、定員を超える応募が多々あり、（2021 年 10 月実施いきいき清掃講座基礎コース：定員 10 名、応募 11 名　2022 年 3 月実施　いきいき清掃講座応用編：定員 4 名、応募者 7 名）等。システム活用の効果が表れている。また就職支援セミナー参加をきっかけに、就労にむけての次のステップ（職場の体験会の参加等）を目指す方が増加している状態となっている。

アウトプット③

6. 新型コロナウイルス感染拡大に対して、事業活動を行う際に工夫した点
①基本的な感染防止策の徹底（ソーシャルディスタンスの確保・検温・手指消毒・マスク・資材等の消毒等） ②発熱者が出た場合のオペレーション（基本計画の作成、地域医療機関との連携等） ③新型コロナウイルスワクチン接種の勧奨（大阪市福祉局と連携し、相談会の実施、ワクチンの接種機会の確保、接種支援等） ④WEB ミーティング等の実施

② 広報に関する報告

1.　シンボルマークの使用状況
□自団体のウェブサイトで表示している　　□広報制作物に表示している □報告書に表示している　■イベント実施時に表示している　□その他 →「その他」を選択した場合は記載してください（自由記述）：
2.　広報
1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等） 特になし（マスコミには、あいりんシェルター取材時にシステムの説明を行う際は必ず、休眠預金助成を原資として開発したと伝えています。（NHK・読売テレビ・共同通信・テレビ東京番組制作会社等） 2.広報制作物等 特になし 3.報告書等 特になし 4.イベント開催等（シンポジウム、フォーラム等） 体操プログラムに参加いただいている、公営住宅住民の方やボランティアスタッフ、また連携団体である大阪社会医療センター、大阪市西成区、西成区社会福祉協議会に休眠預金助成事業として開催しているものだと PR しています。

④規程類の整備に関する報告

1.　事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。
■完了　　□整備中
2.　整備が完了した規程類を web サイト上で広く一般公開していますか。
■全て公開した　□一部未公開　□未公開 →「一部未公開」「未公開」を選択した場合の理由と公開予定日：

3.　変更があった規程類に関して資金分配団体に報告しましたか。
□はい　　■いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：変更がなかった

⑤ガバナンス・コンプライアンスに関する報告

1.　社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。
■はい　　□いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
2.　内部通報制度は整備されていますか。
■はい　　□いいえ →「はい」の場合の設置方法（複数選択可）：■内部に窓口を設置　　□外部に窓口を設置　　□ JANPIA の窓口を利用
3.　利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
■はい　　□いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
4.　関連する規程の定めどおり情報公開を行っていますか
■はい　　□いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
5.　コンプライアンス委員会は定期的に開催されていますか。
■はい　　□いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
6.　報告年度の内部監査又は外部監査を実施予定ですか。（実施済みの場合含む）
■内部監査を実施　　□外部監査を実施　　□実施する予定がない

→「実施する予定がない」を選択した場合の理由：

添付資料

活動の写真（画像データは 1 枚 2 MG 以下、3～4 枚程度）